

LCC News Letter 4.

18 October 2010 LCC広報担当

五周年記念行事とホームカミングデー

LCC五周年記念行事を来る平成22年11月7日(日)午後2時、室町キャンパス寒梅館203号教室で行います。

寒梅館は元の「大学会館」を建て替え、2004年3月に竣工したニューイングランド風の七階建てです。そこにはビジネススクールやロー・スクールが入居しています。

LCC記念行事の会場となる203号室は、階段式の教室です。皆様が忘れかけている、何年、あるいは、何十年振りの学生気分を味わってみてはいかがでしょうか。

当日は同志社大学の年一度の「ホームカミングデー」に当り、10時からチャペルでの礼拝、11時20分からは八田学長のご講演があります。会場の明德館は、実にきれいに改装されていて私の学生時代とは隔世の感です。

懐かしい母校の雰囲気満喫しましょう！

改装といえば、クラーク記念館の修復工事が最近やっと終わり、屋根は建設当時の鉄板葺きに復原されています。以前に比べ、よりクラシックな雰囲気を醸し出しており、まさに今出川キャンパスのシンボルと言えましょう。

是非、内部に入ってご覧下さい。「懐かしい同志社の匂い」を実感されるものと思います。

12時30分から13時45分まで、卒業生同士の交流レセプション(会費制)が、寒梅館1階で行われますが、14時からのLCC設立五周年記念行事のあと、NPO法人との合同懇親会も16時30分から、寒梅館1階のレストラン「アマーク・ド・パラディ」で行われます。

それまでの時間を野点のお茶席や、学生と卒業生の音楽競演などを楽しまれては、いかがかと存じます。



今里 滋教授

今里 滋教授のエピソード

LCC設立五周年記念行事で基調講演をされる教授は、2003年、福岡県知事選挙に出馬されたが、その経緯が実に豪快なのです。

当時、福岡県は新空港建設問題を抱え、地元は大反対。だが麻生知事の対抗馬がいない。仲間と飲んでいた教授は「なら、俺がでるばい！」と自ら立候補宣言。共産党を除く全政党を相手に、市民連合で「アリ対象」の戦いを挑み72万票を獲得する大善戦。お陰で新空港計画は白紙に。教授の信条は、「呑んだときの約束は守る。」折角の九州大学教授の席をあっさり捨てて今、恬淡とされているのです。



昨年のお茶席(野点)風景
(文責:北出 至)